

予算の位置づけ

本市が将来にわたって持続可能な市政運営を行っていくためには、変化を恐れず、不断に「チェンジ」する姿勢と行動が重要です。「全ての人にやさしく、誰もがワクワクするような高岡」へのチェンジを目指し、様々な分野での変革の取り組みを進めていきます。また、最優先課題である令和6年能登半島地震からの「復旧・復興」を着実に進め、被災された人が地域で安心して暮らし続け、未来への希望を描けるよう取り組みます。

令和8年度は、高岡の未来を描く新たな総合計画の策定に取り組む重要な年です。この1年を「住みたいまち 高岡」の実現に向けて踏み出す強い決意のもと「チェンジ元年予算」として編成しました。

予算の特徴

◆未来を見据えた「チェンジ」を推進する施策

- ・市民に寄り添い、高岡の未来に期待を育てるまちづくりを推進するため、これまでの手法から一歩踏み出します。
- ・新たな取り組みや持続可能な市政運営を行っていくための課題解決に向けた挑戦を進めます。

◆震災からの「復旧・復興」を推進する施策

- ・生活基盤の復旧から次の段階へ進み、被災された人の生活がより豊かになり、地域全体が活力を取り戻せるよう、復興を着実に進めます。
- ・災害の教訓を踏まえ、単に元の状態に戻すだけでなく、より魅力的なまちづくりに資する取り組みを進めます。

「チェンジ元年」に
込めた想いを
市長が語ります！



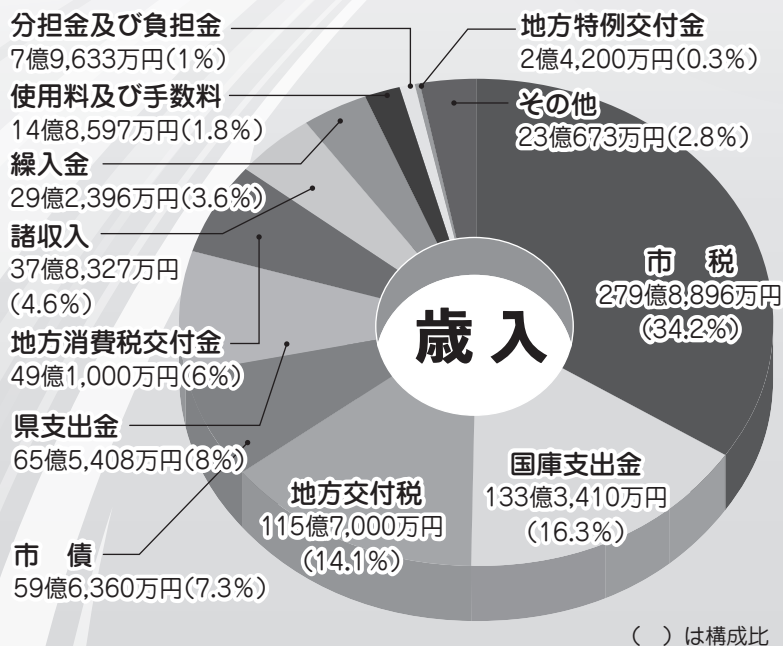
市 HP (動画)

令和8年度予算

チェンジ

一般会計は818億5,900万円で、前年度予算に比べ7,600万円、特別会計は、国民健康保険事業会計など9会計で予算総額は、694億1,935万円、0.2%の増です。

一般会計



会計別予算内訳

区分	令和8年度予算額	前年度からの増減額	伸び率
■一般会計	818億5,900万円	7,600万円	0.1%
■特別会計	694億7,710万円	1億6,935万円	0.2%
国民健康保険事業	140億2,456万円	▲2億5,011万円	▲1.8%
荻布奨学金事業	128万円	▲19万円	▲13.1%
駐車場事業	2億5,887万円	3,415万円	15.2%
介護保険事業	201億4,046万円	1億5,930万円	0.8%
後期高齢者医療事業	38億7,559万円	7億1,871万円	22.8%
高岡市民病院事業	123億2,123万円	▲204万円	▲0.0%
水道事業	56億5,728万円	▲5,663万円	▲1.0%
工業用水道事業	4,609万円	35万円	0.8%
下水道事業	131億5,174万円	▲4億3,419万円	▲3.2%

※原数値を四捨五入しているため、計算が一致しない場合があります。

元年予算

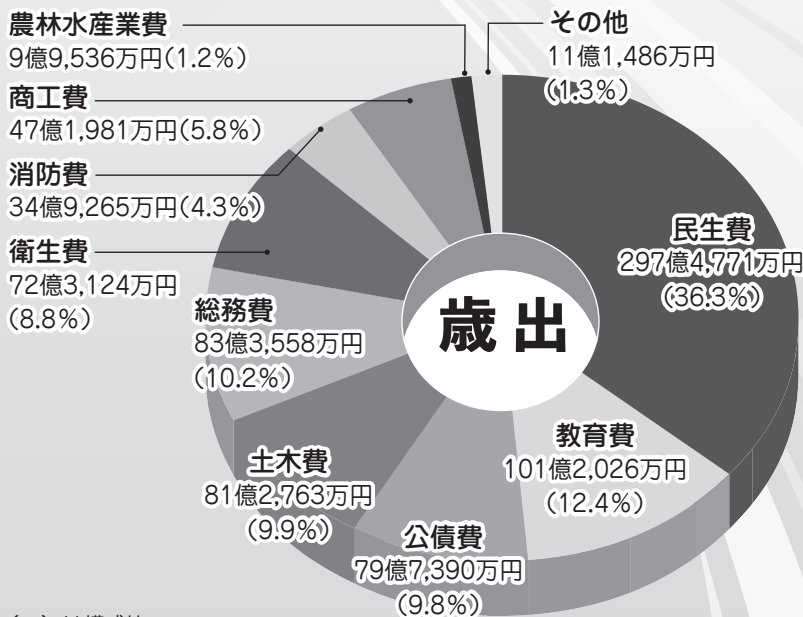
0.1%の増です。
億7,710万円、前年度予算に比べ、

問合せ 財政課 TEL 20-1246 FAX 20-1299



令和8年度予算

818億5,900万円



一般会計の市債残高

令和8年度の市債発行予定額は
59億6,360万円で、
前年度に比べ
5億6,760万円減少しました。

令和8年度末の市債残高（見込）は、
820億4,284万円となり、
令和7年度末の市債残高（見込）に比べ、
14億1,603万円の減となります。

- ・震災からの復旧・復興事業を最優先に取り組みながら、こどもたちの教育環境を整備する学校再編事業を着実に推進していくために必要な市債を発行します。
- ・一方で、将来世代に負担を残さないよう、市債残高の減少トレンドを維持していきます。

予算用語の説明

■一般会計

市税などを主な財源として、市の基本的な経費を経理する会計です。

■特別会計

国民健康保険事業など特定の事業を一般会計と切り離し、保険料などの独自の財源をもって独立して経理する会計です。

■市債

市の長期借入金のこと、道路や学校などを整備するために借り入れるものです。

■扶助費

こどもから高齢者まで幅広い市民を対象に、国の法令や市の条例などに基づき、社会生活を援助するために支出するお金です。

■公債費

市債の元利償還金と一時借入金利子として支出するお金です。

■投資的経費

道路や学校の整備、大規模な修繕などの経費です。

歳出の性質別内訳（一般会計）

区分	令和8年度予算額	前年度からの増減額	伸び率
■義務的経費 計	371億3,347万円	7億9,408万円	2.2%
うち人件費	117億3,240万円	3億7,620万円	3.3%
扶助費	174億2,717万円	6億2,992万円	3.8%
公債費	79億7,390万円	▲2億1,204万円	▲2.6%
■投資的経費 計	97億1,386万円	▲21億6,350万円	▲18.2%
■その他経費 計	350億1,167万円	14億4,542万円	4.3%
うち物件費	119億2,873万円	1億9,914万円	1.7%
補助費等	116億7,938万円	8億8,034万円	8.2%
貸付金	35億7,518万円	▲9,876万円	▲2.7%
繰出金	46億5,391万円	8,861万円	1.9%
歳出合計	818億5,900万円	7,600万円	0.1%

※「その他経費」は主なものを記載しています。

地域産業

旧高岡共立銀行保存整備事業 2億5,036万円

旧高岡共立銀行をレストランおよびホテルとして利活用するため所有者が実施する耐震改修工事および外観改修工事に対して補助を実施する。

たかおか型ビジネスサポート体制構築事業 100万円

地域経済の持続的発展を見据えて、「たかおか型ビジネスサポート体制」の構築に向け、本市にゆかりのある著名な起業家や本市に根差した企業経営者による講演会を開催する。

学校給食高岡産食材活用推進事業 300万円

高岡産食材を学校給食向けに出荷する際の生産者の負担感を軽減し、生産意欲の向上を図る。



たかおか木材利用促進事業 400万円

民間施設の木造化や内装の木質化に際し、市産材または県産材の使用にかかる経費を一部助成する。

歴史・文化

高岡古城公園関連事業 1億円

古城公園の魅力を磨き上げ、市民をはじめ、国内外の人へ発信する。

▶高岡城入城記念事業

開町の日(9月13日)にあわせ、入城記念イベントを実施する。

▶古城公園磨き上げ事業

桜や紅葉シーズンに合わせ、古城公園において各種事業を実施する。

▶本丸土橋周辺堆積土対策事業

本丸土橋周辺の堀に堆積している土砂を撤去し、本来の史跡の姿を取り戻すため、堆積土の調査・測量を実施し、工法などを検討する。

▶公園トイレ改修事業

来園者の快適性向上のため、和式トイレの洋式化を進める。

▶景観再生事業

景観の向上および史跡の保全・見える化のため、継続して堀の法面の樹木整理を実施する。



安全・安心

復興まちづくり事業 2,232万円

「新たな復興計画」を策定するとともに、復興に向けた住民主体のまちづくりの活動を支援する。

液状化対策事業 4億3,703万円

有効な対策工法に選定した地下水位低下工法の事業化に向け、試験施工や試験結果の解析などを進める。

被災者向け交流会開催事業 240万円

令和6年能登半島地震の被災者に交流の場を提供し、被災者同士や支援者とのつながりを通じて地域コミュニティの再構築を図る。



持続可能な地域医療推進事業 500万円

市内の公的病院間の連携を深め、持続可能な地域医療提供体制の構築に向けた取り組みを実施する。

高岡市急患医療センターにおける耳鼻咽喉科の新設

3,536万円

高岡医療圏3市(高岡・射水・氷見)が連携して急患医療センターに耳鼻咽喉科を新設し、診療体制を確保する。



庁舎のあり方検討事業 329万円

市庁舎の整備手法などに係る市民アンケートを行い、市民の思いを反映した整備の検討を進めていく。

物価高騰対応低所得世帯支援事業 2億4,022万円

食料品価格の高騰の影響を受けやすい「住民税非課税または均等割のみ課税される世帯」に対し、生活支援としてギフトカードを配布する。(令和7年度3月補正)



水道基本料金(2か月分)の減免 1億8,981万円

物価高騰の影響を受けている市民や事業者を支援するため、水道料金の基本料金(2か月分)を減免する。〔水道事業会計〕

子育て・教育

小学校給食費無償化事業 4億2,063万円

国および都道府県からの児童一人あたり月額5,200円の給食費支援の実施に伴い、本市の小学校給食費との差額600円を市独自に上乘せ支援し、完全に無償化する。



「探究的な学び」推進事業 151万円

基礎的・基本的な学習を基盤としながら、「探究的な学び」への深化を図り課題を解決しようとする資質・能力の育成を目指す。

子どもたちの健やかな成長と自立を支える教育総合支援事業 2,723万円

様々な支援が必要な児童生徒に対する支援機能を集約した「教育総合支援センター」を新たに設置し、児童生徒一人ひとりに合った総合的な支援を行う。

3×3バスケットボールコート整備事業 2,097万円

高岡駅北口交流広場に3×3バスケットボールコートを整備する。立地特性を生かし、まちなかのにぎわい創出や来訪者の増加につなげ、若者に選ばれる魅力あるまちづくりを推進する。



交流・観光

みんなで創る市民にやさしい公共交通推進プロジェクト 5,300万円

市民にやさしい公共交通の実現に向けて、実証事業を行う。

▶公共交通お出かけ支援実証事業

市内公共交通機関で利用できる割引券配布や高齢者向け乗り放題パスの割引販売の実証実験を行い自家用車から公共交通へのシフトを促す。

▶次世代公共交通トライアルプロジェクト

次世代EVバスやAIオンデマンドバスといった次世代公共交通へのトライアルを支援する。

①次世代EVバスの1か月運行

②路線バスの日中時間帯のAIオンデマンド化の実証実験

▶市民にやさしい公共交通のあり方検討事業

有識者、交通事業者、各種団体代表らとともに、行政が主体となって、路線バスなどの再構築、運行事業の共同化・協業化などについて検討する。

雨晴駅周辺・伏木地区おもてなしブラッシュアップ事業 700万円

JR雨晴駅周辺の受入態勢の充実に向けた取り組みを進めるとともに、伏木地区への観光需要の喚起と誘客促進を図る。

夏の風物詩！高岡七夕魅力UP事業 1,359万円

高岡七夕まつりにおいて高岡の活気をアピールできるよう華やかな空間を創り上げ、市民のシビックプライドの醸成を図る。



高岡市行財政改革推進プランの推進

「住みたいまち 高岡」の実現に向けて、震災からの復旧・復興に被災者および市民に寄り添いながら最優先に取り組んでいくとともに、予測困難な社会情勢や市の課題にも的確に対応しつつ、必要な事業を着実に実施していくため、知恵を絞りながら行財政改革の取り組みを徹底していきます。

市民と一緒に考える高岡の未来

▶「まちかどトーク」や「まちづくり出前講座」など、市民との対話を積み重ねながら、市民が求めている施策や直面している課題を明確にしつつ、地域や市全体の課題解決につなげていきます。

事業の選択と集中

▶あらゆる事業に対し、その意義や目的、効果を点検し、税金の使い方をチェンジし、事業の費用対効果の拡大・促進に取り組むとともに、新たな財源を確保するなど、様々な手段を講じていきます。(効果額：約5.5億円)



令和8年度予算 上下水道事業

「高岡市上下水道ビジョン」に掲げる3つの基本方針「安全」「強靱」「持続」に基づき、上下水道の施設や管路の更新・改築・耐震化を行います。

令和6年能登半島地震により被災した地域住民の生活再建に向け、引き続き復旧関連工事を行います。

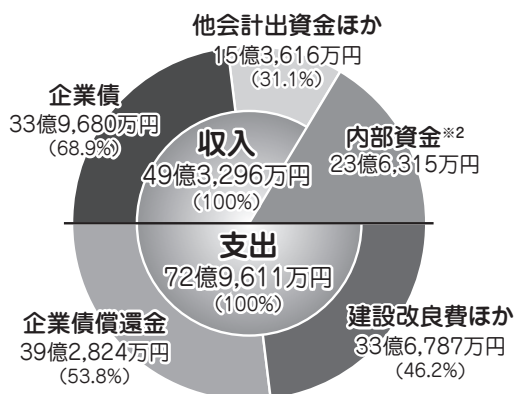
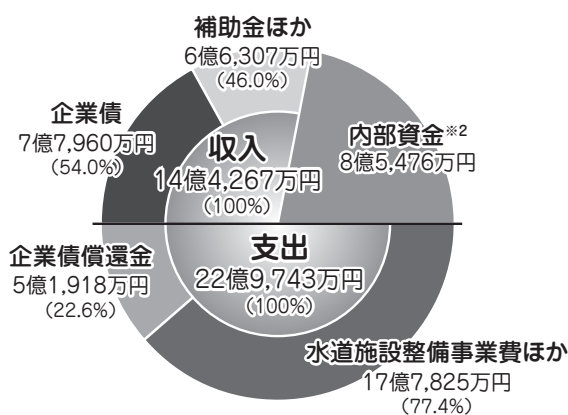
また、災害に備えて、病院や避難所などの重要施設に接続する管路の耐震化を計画的に行うなど、災害に強い上下水道の構築に努めます。*1

問合せ 上下水道局総務課 TEL 20-1622 FAX 20-1624



▲水道管路の耐震化の様子

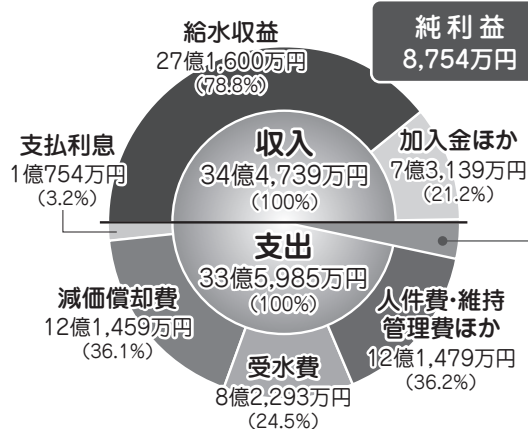
資本的収支 (施設の建設改良の収支)



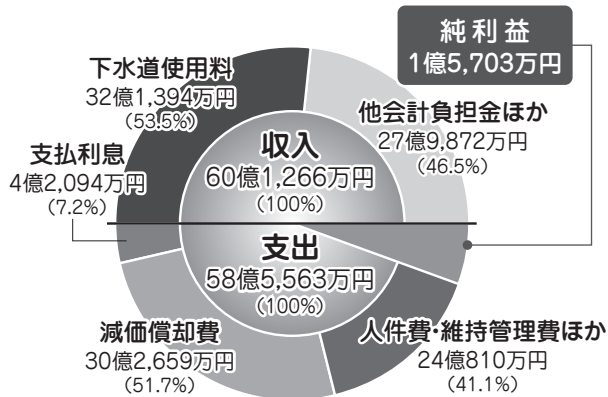
令和8年度は
建設改良事業を
予定していません

収益的収支 (事業運営の収支)

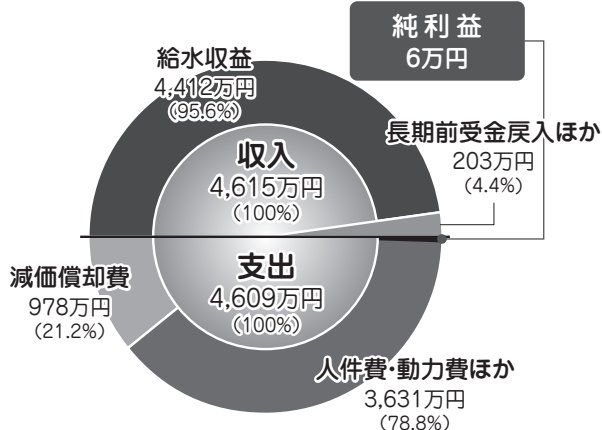
水道事業



下水道事業



工業用水道事業



*1 水道の耐震化については、上記の令和8年度予算に加え、令和7年度に補正した4億6,200万円の予算と合わせて計画的に推進します。

*2 内部資金…収益的収支から内部留保資金(現金の支出を必要としない減価償却費など)を充てたもの

4月1日オープン

高岡市教育総合支援センター

問合先 教育センター（学校教育課内）TEL 20-1204 FAX 20-1667

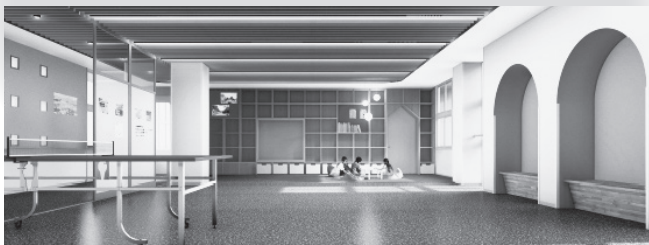
不登校児童生徒や障がいにより特別な支援が必要な児童生徒、外国人児童生徒に対する支援機能を集約した教育総合支援センターです。

関係機関と連携しながら児童生徒一人ひとりに合った総合的な支援を行うほか、保護者および学校からの相談にも対応し、個々の状況に応じたきめ細かな支援で、子どもたちの健やかな成長と自立を支えます。

こんなことで悩んでいませんか？

一人ひとりのニーズに合った
安心できる居場所として

「くつろぐ」「本を読む」「絵をかく」「体を動かす」「学習する」など、自分の好きな空間で、自分のペースで過ごすことができます。



利用日時 月～金曜日（祝日、年末年始を除く）

- 児童生徒 9:00～15:00
- 保護者・教職員 9:00～16:00

ところ 高岡市本町12番1号（旧平米小学校）

対象 高岡市立学校在籍の児童生徒およびその保護者（家族）、教職員

※就学に関するご相談は、市内在住の幼児（原則として年長児）が対象です。

※外国人児童生徒支援は、入国して間もない人が対象です。

問合先 TEL 20-1251（代表） FAX 20-1270

※4月1日から開始



詳しくはこちら▲

みなさん、一緒に
「まちづくり」について
考えませんか

まちづくり出前講座

問合せ 広報発信課 TEL 20-1232 FAX 20-1664

市民のみなさんとともに「まちづくり」について考える「まちづくり出前講座」を行っています。市長や市職員がみなさんの希望される日時・会場にお伺いする講座と、市の施設を説明を受けながら見学する施設見学講座があります。

小学生から受講できる「こども出前講座」では、市の取り組みを、こども向けにわかりやすく説明しています。



詳しくは



出前講座

詳しくは



こども出前講座

例えばこんな講座をやっています！

「総合計画を知ろう！」ではまちづくりの道しるべとなる総合計画について、わかりやすく説明しています。講座の様子は、市公式YouTubeで配信しているまちづくり出前講座のダイジェスト版動画をご覧ください。



市公式
YouTube

申込方法

右ページから講座を選んでお申し込みください

	まちづくり出前講座 (こども出前講座)	健康づくり出前講座	市民病院の出前講座
申込期限	開催希望の1カ月前	開催希望の2カ月前 ※申し込みの前に一度ご相談ください。	開催希望の2カ月前 ※申し込みの前に一度ご相談ください。
開催可能時間	9:00~21:00 ※年末年始および8月15日・16日は除く	9:00~21:00 ※年末年始は除く	平日:13:00~21:00 土・日・祝日:9:00~21:00 ※年末年始および8月15日・16日は除く
申込書設置場所	地域交流センター、公民館、伏木・戸出・中田・福岡支所、広報発信課、市ホームページ	健康増進課、市ホームページ	市民病院、市民病院ホームページ
申込書の提出方法、提出先	窓口、郵送、ファクス、Eメール、電子申請 〒933-8601高岡市広小路7-50 広報発信課 FAX 20-1664 Eメール koho@city.takaoka.lg.jp	窓口、郵送、ファクス、Eメール、電子申請 〒933-0045高岡市本丸町7-25 健康増進課 FAX 20-1347 Eメール kenko@city.takaoka.lg.jp	窓口、郵送、ファクス、Eメール、電子申請 〒933-8550高岡市宝町4-1 市民病院地域医療部 FAX 23-0237 Eメール hospiryou@city.takaoka.lg.jp
問合せ先	広報発信課 TEL 20-1232 ※防火・救急講習は各消防署か 消防本部総務課 TEL 22-2266	健康増進課 TEL 20-1391	市民病院地域医療部 TEL 23-0204

多彩な講座を取り揃えています

📍が付いた講座は「こども出前講座」に対応できます。

安全・安心

- 📍 災害に備えよう！
災害図上訓練をしよう！
避難所運営ゲーム(HUG)をしよう！**NEW**
防災士について知ろう
自主防災組織で活動しよう！
- 📍 災害時要支援者の防災講座
- 📍 交通安全いきいき教室
- 📍 家族を守る防犯教室
国民保護ってなんだろう？
- 📍 防火講習・救急講習

暮らし・環境

- 📍 環境教室
- 📍 ごみの出し方教室
- 📍 高岡のカーボンニュートラル
未然に防ごう消費者トラブル
- 📍 市税の賦課と納税のしくみ

産業・観光

- 📍 よくわかる高岡の観光
中小企業者向け支援制度の紹介
- 📍 ようこそ伏木港へ
高岡の森づくり

健康・福祉

- 📍 高岡市のこども達のために取り組んでいることを紹介します
子育てSOS
- 📍 みんなで考える高岡市のこどもまんなか
- 📍 災害時要支援者の防災講座
- 📍 みんなが主役の地域福祉
- 📍 ご存知ですか あなたのまちの
民生委員・児童委員
- 📍 地域で支える障がい者福祉
介護保険制度について
- 📍 認知症サポーター養成講座
「TAKAOKAアプリ」を使ってみよう
75歳からの後期高齢者医療制度とは
高岡市の国民健康保険
- 📍 食べて動いて眠って！パワーアップ講座**NEW**

都市づくり

- 📍 景観・歴史まちづくり
- 📍 下水道のはなし
- 📍 暮らしの中の水道
災害に強い水道をめざして
新高岡駅の利用拡大の取り組みについて
城端線・氷見線の再構築について
みんなで考える地域交通
まちづくりと道
高岡の都市計画
花と緑のあふれるまちづくり
高岡市の住宅施策
高岡市の空き家対策
リノベーションまちづくり
高岡市中心市街地活性化基本計画 など

教育・文化

- 📍 高岡の歴史を知ろう
- 📍 高岡城と城下町の魅力
- 📍 身近な文化財を知ろう
- 📍 福岡町の歴史・民俗を知ろう！**NEW**
- 📍 高岡と万葉
- 📍 越中福岡の菅笠づくりの歴史
豊かな感性と郷土を愛する心を育てる
「ものづくり・デザイン科」
- 📍 こんにちは美術館です！
- 📍 高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリーの魅力
- 📍 カメラ館ってなに？
- 📍 こどもカメラマン講座

健康づくり出前講座

健康たかおか📍10か条について
知って得するがん予防
薬と上手に付き合ひましょう
こころの健康づくり
感染症対策のキホン
熱中症予防について
災害時の心と身体の健康管理
ライフステージに応じた女性の健康管理**NEW**
自分らしく生き抜くヒント-人生会議とは- など

詳しくは
こちら▶



市政

- これからの自治会のカタチとは
 - 📍 議会の仕組み
 - 📍 選挙啓発出前講座
統計データを使いたい！
 - 📍 男女共同参画社会の実現に向けて
「エッ、これもDV・・・」
多文化共生のまちづくり
 - 📍 総合計画を知ろう！
 - 📍 SDGs(エスディーゼーズ)を実践しよう！
暮らしが便利になる！デジタル広報
のススメ
地図情報サービス「デジマップ@た
かおか」を使ってみよう
「電子申請」を活用してみよう
マイナンバー制度について
高岡市の行財政改革
公共施設の再編
高岡市の財政事情
監査の役割について
お好み講座
(記載のない内容での講座を
希望する場合はご相談ください)
- この他に施設見学も実施しています！

市民病院の出前講座

身近な病院や医療の知識を深めてもらえよう、出前講座を開催しています。糖尿病、高血圧症などの病気に関することをはじめ、感染予防、メンタルヘルス、生活習慣、薬に関する事など多彩なメニューを用意しています。

詳しくは
こちら▶



10,000円(1口)購入で12,000円分使える!



高岡市プレミアム付

デジタル商品券も販売します

問合先 商業雇用課 TEL 20-1289 FAX 20-1496

物価高騰の影響を受ける市民の暮らしを支え、地域経済の活性化を図るため、市内店舗で利用可能なプレミアム付デジタル商品券事業を実施します。

内容 1口12,000円分のPayPay商品券を10,000円で販売
(1人上限5口まで)

対象 高岡市に住民票のある12歳以上の人
※事前にPayPayアプリダウンロードおよびアプリ内での本人確認が必要です。
※本人確認には日数がかかるため、余裕をもってお手続きください。

利用店舗 市内のPayPay取扱加盟店 ※コンビニなど一部、商品券を取り扱わない加盟店があります。

申込期間 4月13日(月)10:00~30日(木)23:59

申込方法 PayPayアプリ内専用ページ(地域商品券)から
※応募多数の場合は抽選
※詳しくは特設サイトをご覧ください

当選発表 5月1日(金)夕方以降にメールおよびアプリ内で通知

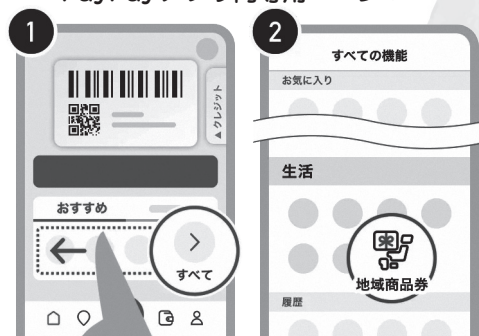
購入期間 5月1日(金)~6月1日(月)

利用期間 5月1日(金)~10月27日(火)



特設サイト

PayPayアプリ内専用ページ▼



商品券の申し込みがわからない人は…

個別相談会を開催します(予約不要)

とき 4月16日(木)~19日(日) 10:00~17:30

ところ 御旅屋セリオ5階マルチスペース(ルーム4)

持ち物 スマートフォン、(本人確認の済んでいない人のみ)マイナンバーカード、署名用電子証明書用暗証番号(6~16桁のもの)

※駐車場は市営御旅屋駐車場をご利用ください。
(入庫から2時間無料)

事業者の皆さまへ

キャッシュレス決済をお店に導入しませんか。
市では決済端末導入費や決済手数料などに対する支援制度を設けています。
ぜひご利用ください。



市HP

アプリのダウンロードがわからない人は…

市内ソフトバンクショップで相談できます(要予約)

事前に電話などで予約のうえ、ご利用ください。

店舗(所在地)	電話番号
イオンモール高岡店 (下伏間江383 イオンモール高岡2F)	53-4010
高岡野村店 (野村879-1タイヨービル1階)	28-6213
高岡横田本町店(横田本町8-8)	24-9177
高岡駅南店(駅南3-3-1 CUBE 駅南1F)	29-2733
戸出店(戸出町4-1678)	63-4777

PayPayカスタマーサポート窓口

PayPayアプリに関する一般的な質問にお答えします。

TEL 0120-990-634(24時間365日対応)

専用コールセンター TEL 0120-925-510 (9:00~18:00、4月1日から)

林野火災にご注意ください

問合せ 消防本部予防課 TEL 22-3132、消防本部警防課 TEL 22-3133

令和8年1月から**林野火災注意報・警報**を運用開始しました。

乾燥・少雨などの気象の状況により林野火災が発生・延焼しやすい危険がある時は「林野火災注意報」や「林野火災警報」を発令し、屋外における火の使用を制限します。

林野火災は、春に多く発生する傾向にあります。この時期は降水量が少なく、空気が乾燥し、強風が吹くという気象条件が重なっていることが原因とみられています。

林野火災の出火原因の多くは、**人的要因**によるものです。特に春は、枯草焼却などの「たき火」や害虫駆除などを目的として草や木を焼却する「火入れ」が行われ、火を扱う機会が増えます。

また、山菜取りやハイキングなどの入山者による、たばこなどの火の不始末も原因となります。



林野火災の特徴

林野火災は、市街地での火災とは異なり、消防水利の不足や道路状況が良くないなどの地理的、地形的条件から消防活動が非常に困難なため、焼損面積が広範囲に及び可能性が高くなります。



林野火災を防ぐポイント

- ・強風時や乾燥時には、たき火、火入れをしない
- ・消火器や水バケツなどの消火準備を必ず行う
- ・火気を使用した後は、完全に消火する
(炭火、炭化した木や葉などは、火が見えなくなっても高温部が残っている場合があります)
- ・たばこのポイ捨てや火遊びはしない、させない
※「火災と紛らわしい煙または火災を発生のおそれのある行為」は、消防署への届出が必要です。
ただし、この届出により、消防が焼却行為を許可するものではありません。



市長 コラム



チェンジ元年予算

私にとって市長就任後初めてとなる、令和8年度予算編成が終わりました。

「住みたいまち 高岡」の実現に向けて踏み出す強い決意と、市民の皆様からお預かりした税金は、市民のことを一番に考え、市民のために使うという強い信念のもと、予算編成に取り組みました。主な内容については今号の冒頭に掲載していますので、ぜひご覧ください。

先般の衆議院議員総選挙では、高市総理は「重要政策の大転換」を訴え、自身の強い覚悟を示しました。この姿に多くの国民が共鳴したのです。国民は今、変化を求めているのです。

高岡市も変革、チェンジしなければなりません。昨年6月に、いみじくも変化を求める市民の皆様からの負託を受けました。それから8カ月が経ち、この間、働いて、働いてきました。人口減少社会に対応するためには、一刻の猶予もありません。私にとっての初めての当初予算は、その想いも込め「チェンジ元年予算」と銘打ちました。

去る1月に「二十歳の集い」を開催し、1,122人が出席しましたが、中にはこの式典のために帰省した人もいました。高岡に思い入れのある若者はかなり多いのです。このような若者たちに高岡に住んでもらうため何をすべきか。いったん都会に出て、高岡に戻ってきてもらうためには何をすべきか。これは我々に突き付けられた重要な課題です。

そのようなことを考えていた矢先、高岡商工会議所女性会の新年例会にお招きいただき、コーラスグループの「オー・シャンゼリゼ」を拝聴し、改めて、この歌詞に共感しました。

曲の歌いだしにあるように、まちを歩けば誰かと出会う、そのような「ワクワクする」まちづくりをしなければなりません。春になりました。高岡市が、富山県はもとより、日本で咲き誇るまちにチェンジできるよう取り組みを進めていきます。



W7系

『山中漆器祭』（加賀市）

毎年ゴールデンウィーク中に開催される全国に誇る山中漆器の一大イベント。
山中漆器の直売や、飲食コーナーなど漆器産地と温泉街が楽しめるイベントです。

- とき** 5月3日(日)・4日(月・祝)9:00~17:00
ところ 「山中座・菊の湯」前広場
アクセス 北陸新幹線で「新高岡駅」から「加賀温泉駅」まで
 約34分、路線バス30分、タクシー20分、
 周遊バスなどあり
問合せ 山中漆器連合協同組合 ☎ 0761-78-0305



詳しくは
こちら

故郷の人物を知ろう

たかおか 温故知新

業界発展に尽力した銅器問屋

5代 塩崎 利平(1856~1918)

5代塩崎利平は高岡銅器産業の発展に尽くした銅器問屋で、金森宗七(令和7年3月号掲載)の後を受けて活躍しました。

塩崎家の祖の信州守護・小笠原長秀は1400年に一揆を逃れ、二上山麓に移住して横田村を開拓したと伝わります。孫の代に塩崎を姓とし、のち子孫は十村に任じられました。

初代・指物屋次良右衛門(のち道具屋利兵衛)は1740年分家して源平板屋町に住み金物商を営み、2代は翌年木舟町に転居しました。

5代利平は1869年、先代の死去を受け13歳で家業を受け継ぎ、商売に邁進しました。利平は外国人の好みを調査して、1875年横浜、1882年神戸に

進出し、銅器の輸出に努めるとともに、1890年の内国勸業博覧会をはじめ、国内外の博覧会に出品、受賞を重ねました。

しかし、銅器は次第に品質が落ち、売り上げが下がりました。利平は1890~97年頃、農商務省の委嘱で技術者を招き、意匠



5代 塩崎利平

や形状、鑄造や着色などを改良研究し、その成果を同業者に無償で提供し業界全体の改善を図りました。やがて銅器は高岡の主要産業に発展し、1908年利平はその功績で緑綬褒章を受章しました。

その間利平は1899年の県工業会高岡部会や同物産陳列所などの設立に関与し、1906年高岡銅器同業組合の初代理事長に就任しました。さらに、市会議員、商業会議所理事などの要職も長年務めました。

(仁ヶ竹主幹)

問合せ 博物館 ☎ 20-1572



©Fujiko-Pro



2/20 高岡市学校教育振興会表彰式

市役所で高岡市学校教育振興会表彰式が開催され、スポーツや文化、ボランティア活動などをはじめ様々な分野で活躍した児童生徒らが表彰されました。陸上男子400Mで日本中学新記録、大会新を達成した牧野中学校3年の金子斐音さんは「これまでに色々な賞をいただいたが、地元で表彰してもらえることは光栄。これからも努力を続けていきたい」と話しました。

2/28 家族で楽しむミュージックベル

御旅屋セリオ3階の子ども広場で、親子向けイベントとしてミュージックベル演奏が行われました。ドラえもんやアンパンマンなどのテーマ曲が演奏されると、参加した親子には、音楽に合わせて体をゆらしたり一緒に歌ったり、笑顔があふれました。主催した音楽ボランティアグループ「リンベル」の代表は、「家族3世代で楽しめるプログラムを企画しています」と演奏会への思いを話しました。



3/2 おいしいりんごを食べよう!

万葉なかよし保育園で、青森県りんご対策協議会北新地区青森りんごの会から、青森りんごの贈呈がありました。子どもたちに果物を食べる習慣をつけてもらおうと、平成元年から毎年高岡まこと銀行を通じて寄付されているもので、462個のりんごが市内の保育園などに配られました。子どもたちは「おいしいりんごをありがとう!」とお礼に歌と踊りを披露しました。

■右のアイコンがついているものは、無料アプリ・カタログポケットで、動画やスライドショーを視聴できます。



動画



スライド
ショー